

## 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

### 実施者

株式会社バカン

### 取組概要

**取組名** : 避難所マネジメントシステムと地域交流推進アプリ「tami tami」によるフェーズフリー活用  
**実施地域** : 長野県茅野市  
**アクティビティ種別** : ②住民コミュニティの活性化を担う地域運営組織（農村 RMO）の取組  
**取組形態** : 直接的貢献 間接的貢献 （人的 金銭的 物的・技術的）  
**取組実施日・期間** : 2025年8月18日～2025年12月8日

### 取組詳細

<b>取組の目的・解決したい課題</b>	高齢者単身世帯や移動困難者が多く、見守り・安否確認のニーズが高く、かつ地域の人手や予算が限られている地域において、平時のコミュニケーション活性化や有事の迅速な避難を実現することを目的とする。
<b>インプット</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 災害時の避難所受付・名簿管理を効率化するシステム一式</li><li>✓ 自治体、地域団体、避難所運営関係者、住民とのネットワーク</li><li>✓ 防災・避難所運営・地域コミュニティに知見を持つ担当者と開発・運用チーム 8 名</li><li>✓ 人件費 133 万円、交通費 50 万円、備品等 110 万円</li><li>✓ 従来の手書き受付との比較指標、個人情報・本人確認の運用ルール整備</li></ul>
<b>アクティビティ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 避難所での受付実証：避難所で LINE やマイナンバーカードリーダーを使ったデジタル受付を実施し、従来の手書き受付と時間・手間・正確性を比較。</li><li>✓ 平時のコミュニティ活性化・啓発：地域交流アプリを使い、住民同士のつながりづくりと、防災・避難行動・安否確認への習熟を促す啓発を実施。</li><li>✓ 平時と非常時の垣根をなくした「フェーズフリー」設計の検証：日常的な仕組みが非常時にもそのまま機能するか検証。</li></ul>
<b>今後の展望</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 地域コミュニティとの一体化：平時の交流・見守りと防災対応を同じアプリ基盤で運用し、日常⇄非常時をシームレス化。（2027年3月）</li><li>✓ 農山漁村への更なる展開：高齢化・人材不足が特に進む地域へ導入を広げ、自治体向けパッケージ（マニュアル・研修・機材）を整備。（2027年3月）</li><li>✓ データ活用：要支援者の把握、支援配分の最適化を図る。（2028年3月）</li><li>✓ アプリ機能の拡張：受付機能に続き、要配慮者対応、物資管理 機能を拡大し、高齢者も使える UI・支援体制を整備。（2029年3月）</li></ul>